

神の存在と属性

1. 聖書が教えている キリスト教信仰の 一番目の要素は何ですか。

ただ、お一人の神がおられるということです。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることとを、信じなければなりません (ヘブル 11:6)。つまり聖書は、神がおられることを証明する書ではなくて、神がおられることを宣言する書です。また、神がおられることと同時に、必ず神を求めなければならないことを証しします。

2. しかし、なぜ多くの方は 神はいないと言うのですか。

神がいなく言うのは、彼らが傲慢だからです (詩 10:4)。人間は、この世で起きるすべてのことを知ることができません。人間は、極めて制限された存在だからです。ところが、多くの方は、自分はすべてを知っているかのように考え、神はいないと言います。また、ある人たちは、神を見ることができないので、神はいないと言ったりもします。彼らの主張は愚かです。人間には霊魂がありますが、それは人間の目には見えません。それは、風が吹いても人の目に見えないだけで、風があるのと同じです。

また、神がいなく言う者たちは、その心が腐敗して悪を行う者たちです (詩

14:1)。彼らは、人間の行為を判断し、正義に従って審判なさる神の存在を否定したがります。また、神の存在を否定する者は、神を認めれば自分が束縛されると考えるからです。それで、自分の思いのままに生きたいと願う者は、神の存在を否定します。

3. ならば、私たちは神がおられることをどのようにして認められますか。

聖書には、神がおられることの証拠が数多くあります。聖書の初めの聖句である創世記1章1節には、「初めに、神が天と地を創造した」と語っていて、詩篇19篇1節では、「天は神の栄光を語り告げ」と語っています。私たちの理性は、神の創造の働きと摂理を通して神がおられることを知っています。神は創造主として、天と地とすべてを造り明らかにされ（ロマ1:19-20、使徒14:17）、人間の霊魂を造り、理性と良心を与え（ゼカリヤ12:1）、造られたすべては秩序良く運航されています。教会の為には奇跡と驚く御業を行い、悪な者たちは死の審判を受けるようにと（詩9:16, 58:10-11）、何十億の多様な人類に持続的な秩序を保たせます（詩104:24）。このような事実は、彼らを治める神がおられることを証しします。

4. 私たちは神の本質を理解することができますか。

人間は、神の本性と品性を完全に理解することはできません（ヨブ36:26、Iテモテ6:16）。なぜなら、神は創造主であり、人間は被造物に過ぎないからです。創造主は神として、ご自分の特性などを自ら知らせてくださいました。神は、ご自身の名前を明らかにされました。それで私たちは、その御名が持つ意味によって神を知ることができます（出33:19, 34:5-6、詩145:1-2）。私たちは到底、神

の栄光ある本性のすべてを知りうることはできませんが、神がご自身について知らせてくださった分だけは、知ることができます（士師記 13:18）。神はご自身の行為と御言葉によって、私たちにご自身を啓示してくださったのですが、私たちが神を知るのに必要な分だけ知らせてくださいました（申 29:29）。神はモーセに、ご自身の御名を『わたしはある』という名で知らせました（出 3:13-14）。それは、いつも生きておられ、続けておられる神の属性を含めている御名です。

5. 神の御名から 何を知ることができますか。

「主」という神の名は、神ご自身が明らかにされました。「『わたしはある』という者である。」（出 3:14）この名の意味は、神の存在と本性を意味しますが、それは、その方は永遠であり、全能の方であることを現します。そして、存在するすべての根源が、神にあることを意味します。また、この御名は、どの存在も神と比較できないという意味です。預言者イザヤは、神の前では、すべての国々も無いに等しいと告げています（イザヤ 40:17）。従って神に賛美し、感謝する時、その御名を呼びながら賛美をしなければなりません（詩 145:1-3）。

6. 神の特性には どのようなことがありますか。

神は、絶対的なお方です。その方は、なさろうとすることを、その方の良しとする御心に従って行われるからです（マタイ 3:9）。神は、実際に行動なさる方です。すでに創造を通して見せられ、世のすべてを治めることを通して見せられています（詩 135:6-7）。神は、永遠の霊であり無限な方です（ヨハネ 4:24, 8:58）。神は生きておられ、体がなく存在し、人の目には見えず、人に触ることもできず、また、決して分割されることもありません。

7. 神が霊であるという教えは、私たちにどのような意味がありますか。

神は霊であるので、私たちが神に礼拝する時、私たちの霊によって、真理の中で礼拝しなければなりません（ヨハネ 4:23-24）。神に礼拝する時、私たちの想像力を動員したり、神を肖像画させたり、神を、目に見えるどのような物でも作ってはなりません。そのようなことは、私たちの想像力に神を閉じ込めることです。それは、神を制限させることであり、また、侮辱することです。

8. 神の完全な本質とは、何を意味しますか。

神は、自ら完全であられるので、外部の何らかの助けがあって存在する方ではありません。神は自ら十分であります。すべては神によって成ります。従って神の完全さは、神の重要な特性です（創 17:1、ロマ 11:35-36）。そこから神の栄光が限りなく出て来るのです。神の完全さ（全き方）というのは、単純さ（simplicity）と無限さ（infinity）で構成されます。神は、力と知恵において無限です。それは、人が全てを全部理解できるものでもありません（詩 139:7、I 列王 8:27、ロマ 11:33）。このように神は、極めて偉大であり、永遠の方です。

9. 神の普遍性は 何を意味しますか。

この世にある、すべてのことは変わります。良く変わるのか、もしや、悪く変わるのか、すべては変わるようになっています。しかし、神は変わることがありません。神がある不完全な状態から、完全な状態になるのではないからで

す。神が絶対基準であるから、変わりはありません。神のこのような属性は、真実な者たちに慰めを与えます。神の慈悲は絶対に変わらないからです。勿論、これは、悪者には恐れを与えます。自分たちの罪悪について、神の変わらない基準によって審判なさることを知っているからです。

10. 神は、どこにでもおられますか。

神は肉体的な体はお持ちではありません。それで神は、どこにでもおられます。神の本質は、どのような場所の制限も受けられません。神は聖書を通して、私たちと近くにおられ、神の御言葉と、それ以外の他の手段を用い私たちに恵みを施し、私たちの祈りを聞かれると告げています（申4:7）。また、聖書において、神は天におられると語っていますが（詩2:4）、それは、神の栄光と威厳が、天国で最も大きく照らしているという意味です。

11. 永遠なる神とは、どういう意味ですか。

永遠性は神の特性の中で一つです。そのため、神は時として測定することができないのです（Iテモテ1:17、イザヤ41:4,44:6、詩90:2、黙1:8）。神は始まりもなく昔いまし、今いまし、後も終わりのないとしえまでおられます。そういうわけで、神以前には、どのような物も存在せず、以降にも神よりもっと長く存在するのはありません。このような神の永遠性によって、神がご自分の子たちに約束されたことは必ず成就されるでしょう。また、ご自分の民を、永遠の国で永遠に導かれることでしょう（詩48:14、103:17）。この事実は私たちに、永遠の命、つまり、永遠の命に対する望みを持たせます。

12. なぜ神を、生きておられる神と 呼ぶのですか。

神がいつも生きておられることも、神の重要な特性の中で一つです。聖書は神を「生きておられる神」と呼びます（詩 42:2、エレミヤ 10:10、ヘブル 3:12、10:31、I テモテ 6:17）。それは、神ご自身の中に命があるからです。すべての被造物は神から命を頂きます（詩 36:9、I テモテ 6:16-17、ヨハネ 5:26）。神は、死人に命を与える方です（創 2:7、使徒 17:28）。さらに神は、生きている者の神です（マタイ 22:32）。そして神は、死んでいて命のないすべての偽りの神々と区別されます（詩 115:5-6、イザヤ 41:23、使徒 14:15）。

13. 神の知識と知恵は、どういうことなのか。

神の知識も、また重要な神の特性です。神はご自身は勿論で、すべてのことを知っておられます（マタイ 11:27、ヘブル 4:13、詩 139:1、ヨハネ 21:17、I テモテ 1:17）。従って神は、その、どのような事にも騙されない、すべてを最も知恵と秩序を保たせ、ご自身の被造物を保護なさいます。神の無限なる属性によって、神の知識は無限です（イザヤ 40:28）。神は、絶対的にすべてを知っておられ、それらに応じて報われます。特にご自身の選んだ民を知っておられるので、彼らを他の者よりも愛します（II テモテ 2:19）。神は、すべての人の考えと意を知っておられるので（創 6:5、詩 94:11、箴 21:1、エレミヤ 17:9-10）、私たちは神と人の前に正直であるべきです。それで、神が私たちの心の証人だと言われるのです。

14. 神の聖さとは、何ですか。

聖さは、神の一般的な属性です。神の聖さのゆえに、人間は聖さによって神に近づくべきです。しかし、多くの人は罪人であるから、神に近づくためには、必ず罪の赦しを受けなければならず、その心に、聖なる性質が植えられなければならないのです。それで神は、選んだ民にキリストを与え、キリストは父なる神と共に、彼らに聖霊をお与えになるのです。神の聖さによって、神の恵みと正しさが現れます（出 20:5-6、34:6-7、エレミヤ 32:18-19）。神の恵みとは、ご自分のすべての被造物に恩寵を施し（詩 145:7、マルコ 10:18、ヤコブ 1:17、マタイ 5:45、詩 34:8-10）、選んだ民にはさらに大きな恵みと慈悲と愛を施しますが、そのことを救いの恵みと言います。神の正しさは、神のご意志と御言葉と御業によって現れます。従って、神の御業に対して、人々は判断したり不平を言ったりはできません。さらに神の正しさは、人々の行為に従って賞を与えたり、あるいは、審判なさることで現れます。

15. 神の本性に対する、間違った理解は 何ですか。

人間の腐敗性には、自分の欲望通りにしようとする情欲が居座っています。このような情欲によって、人々は、神に対して世俗的な観念を持っています。それで、自分の情欲を満足させるために神を作り、ましてや、神を人間と同じ存在と考えたりもします（詩 50:2）。人々は自分の腐敗した観念を持ちながら、自分のために神を頭の中で作り出したりしますが、例を挙げると、自分の健康と金持ちになるために神を作って拝みます。そして、それに関する聖書聖句を文脈と関係なく探し出し、正当化させます。このような行為は、たとい彼らが聖書の御言葉を持って神に仕えると言っても、偶像崇拝に過ぎないのです。